

1 自校の教育課題解決を目指した指導計画の工夫・改善

- 学校や地域社会の実態、子どもの発達段階を踏まえ、各活動・学校行事を通して育てたい資質・能力を明確にした指導計画の工夫・改善に努める。

2 集団や社会の形成者としての資質・能力を育成するための指導の充実

- 各活動において育てたい資質・能力を明確にし「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。
- 子どもが集団や社会の形成者として合意形成に関わり、役割を担うことができるようにする。
- 指導内容を精選・重点化し、体験的な活動の充実を図るとともに道徳的実践の指導の充実を図る。

【学級活動】

- 話し合い活動を充実させ、活動内容(1)が十分展開できるようにする。
- 日常の生徒指導との関連を図りながら指導することで活動内容(2)の充実を図る。

◎ **キャリア教育との関連を図り、望ましい職業観・勤労観を育む。※小学校で(3)新設**

【児童会・生徒会活動】

- 協力的な指導体制の充実を図り、異年齢集団の特質を生かし、自主的、実践的な活動を助長する指導・援助やリーダーシップの育成に努める。

【クラブ活動(小)】

- 子どもの興味・関心を十分に踏まえ、学校、地域の実態を考慮しつつ、自発的、自治的に企画、運営できるよう適切な指導を行う。

【学校行事】

- 行事のねらいや特質に応じて精選化を図るとともに、多様な人々との交流体験や文化的な体験(小)、職場体験(中)等を重視し、自主的・実践的な活動が展開できるように工夫する。

3 よさや可能性を積極的に認めた資質・能力の評価

- ◎ **活動の過程で一人一人を見取り、よさや可能性を積極的に認めるとともに、多様な振り返る活動により集団や自己の変容に気付かせ、子どもの自信や次の活動への意欲を高める。**

特別活動の充実のために

※は参考文献等

学級活動における「話し合い活動」の充実と「キャリア教育」との関連

【学級活動(1)】「学級や学校における生活づくりへの参画」

学級委員や計画委員による司会、記録等の役割分担、活動の計画・立案等により自分たちの活動であることへの自覚と責任をもたせるとともに、アンケートや事前調査等により子ども一人一人の問題意識や改善意欲を高める。

【学級活動(2)】「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」

子どもが切実感をもって話し合い、具体的な改善策を伴う自己決定ができるように資料を提示する。また、養護教諭、学校栄養職員などの専門性を生かした指導や、家庭や地域との連携・協力を図ったり、個に応じた指導を工夫する。

【学級活動(3)】「一人一人のキャリア形成と自己実現」

将来に向けた自己実現に関わるものであることから、できるだけ子どもによる話し合いを生かして考えを深め、子ども一人一人の主体的な意思決定を大切にする活動とそれに基づく実践等を大切にする。

- ・ 「目指す姿」について話し合い、目標に向かって取り組めるようにすることを重視する。
- ・ 係活動など、自分の役割を果たすことの意味や大切さについて考え、他と協力してやり遂げ、成就感や達成感を味わえるようにする。

「振り返る活動」の充実

- ◎ 活動の過程で一人一人を見取り、よさや可能性を積極的に認めるとともに、多様な振り返る活動により集団や自己の変容に気付かせ、子どもの自信や次の活動への意欲を高める。

- ・ 活動の目的を明確にした上で実施し、育てたい資質・能力に即した視点で振り返らせ、教師が積極的によさを認め、子ども同士でも認め合う場を設定する。
- ・ 体験発表会、新聞による紙上発表、礼状作成など、多様な方法で活動を振り返り、活動後の変容に気付かせるとともに、何が変容につながったのかについて考えさせたり、話し合わせたりする。

※ 楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)(平成26年7月 国立教育政策研究所)

※ 学級・学校文化を創る特別活動(中学校編)(平成28年3月 国立教育政策研究所)

